

# 響

ひびき

浄土真宗・お東

真宗大谷派

どうじょうじ  
道誠寺報

No.78

2024年2月23日発行



オホーツク国道  
北見市常呂町

平成二十七年  
八月十九日

オホーツク国道 北海道北見市

画/百田 稔

思いどおりになっても  
苦しみや 悩みは  
なくならない  
池田勇諦師

# 道誠寺 行事日程表

春季彼岸会法要

3月21日(木)14時

子ども花まつり

4月7日(日)15時

盂蘭盆会法要

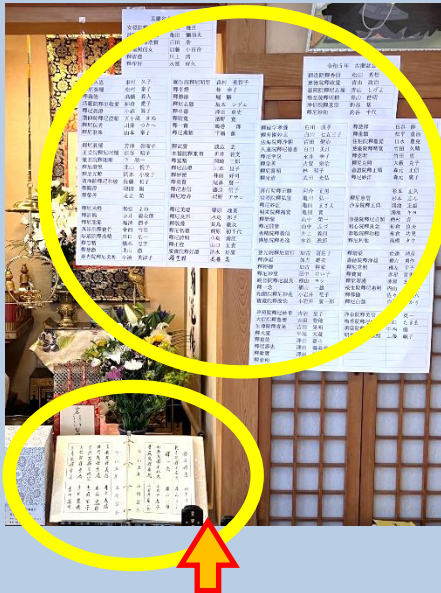
8月15日(木)15時

秋季彼岸会法要

9月19日(木)14時

報恩講

10~11月 日程未定



## 春秋彼岸・盂蘭盆会について

お寺の本堂では、参詣された皆さまと法要をご一緒にお勤めしています。

ご参詣のご都合がつかず、御布施を現金書留や銀行振込みにてお送りくださる方は、亡き故人さまの法名、俗名をお知らせください。

振込先は、他銀行からの振込みの場合

ゆうちょ銀行 宗教法人 道誠寺

店名 〇五八 ゼロゴハチ

普通預金 5129219

同じゆうちょ銀行からの場合

記号 10540-2

普通預金 51292191

ご自宅や本堂での戸別の参勤も承っていますので、ご依頼ください。

俗名	法名	俗名	法名
<input type="checkbox"/>	釋尼	<input type="radio"/>	釋
<input type="checkbox"/>		<input type="radio"/>	〇
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	〇
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	〇





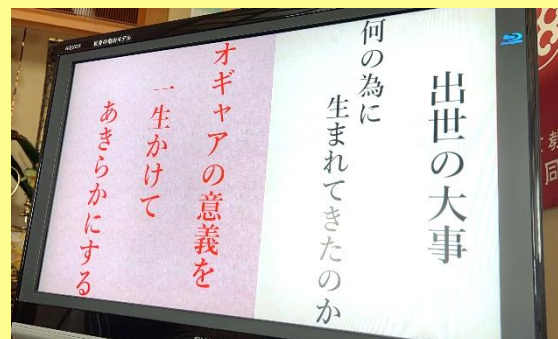
その他、同朋会や親鸞教室などの定例行事は、ホームページで随時お知らせしていますので、ご覧ください！



## 行事報告

令和五年十一月九日

道誠寺報恩講 厳修



オンライン配信により、お寺へ直接  
ご参詣できない方はご自宅からご  
聴聞いただきました。



## ご讚題 真宗の終活

講師 百々海 真師 釋真了

今日お話しすることは一つの問題提起です。「真宗の終活」と掲げましたが、「終活」というのは、人間の終焉にかけて、身辺整理、遺産相続の準備、あるいは後継者の育成、住所録や預金や保険の備忘録の整理といったことです。断捨離、不要品の処分も大切ですね。

今年の六月に東北のある組で開催された公開講演会にご縁をいただきました。百人ほどの参詣者がおられ、広い本堂は満堂でした。法話の後に、質疑応答の時間があつたのですが、そこでお聞きした質問に今でも考えさせられています。

質問されたご門徒の感覚、仏法聴聞によって新たな問題意識が開かれていく例として、皆さんに申し上げたいのです。仏法聴聞によつて生まれる問題感覚、生活が仏法の実験場所に転ずるとは、具体的にはこういうことなのだと、私は教えられたのです。

ご質問された方は、地元で事業を展開されている六

十代後半の経営者の男性です。その方がずっとお考えになられていたことを質問されたのです。

「近頃は「終活」ということが言われます。私は会社を経営しておりますので、後継者の育成や自分なりの事業方針についてもままとめています。こういったことをきちんと済ませておくことは大事なことだと思うのですが、「終活」というのは、物の始末なのですね。物の始末も確かに大事なのですが、私は今、このことが引がかつているのです。というのは、身辺整理がすべて済んだとしても、整理している私の思いは片付かないことに気づかされたのです。ですから、真宗における終活、仏教の見解を聞かせてください」

という質問でした。究極的問い、「片付けている自分が片付かない」、実に深い質問でした。

この問題感覚が大事なのですね。仏法聴聞によつて、これまで問題にならなかつたことが問題になってきたのです。もっと言えば、わからなくなりましたのです。

聞法といつても、私が法話を聞く形式をとります。聞いている私は、当然のことながら、法話を自分のモノサシ



で聞くのです。

ところが聞法とは聞いている私全体が破られることなのです。「彼岸」に出遇って、「此岸」が見えるとは、そういうことなのです。

聞法に限らず、仕事でも、家庭でも、テレビを見ていても、すべて私を立場に見聞きし、評価し、取捨選択をします。立場にしている私を問うことは、自分から起こせない問いです。自分の物の見方、人生経験、価値観はあつて当然です。ですが、それが本当に確かなモノサシかどうかは、別のモノサシがなければ確かめようがありません。いわば彼岸のモノサシに遇わねば、此岸のモノサシがまつすぐかどうかは検証できない。「終活は物の始末であつて、全部始末がついても我が身が始末できない」、この問いこそ、ひとつの目覚めとして感じられます。

親鸞聖人の求道もこの感覚なのです。私に仏法というものを足して救われるのではなく、求めている私自身も根こそぎ翻されることが仏法に出遇うことなのです。この方の問いは、自分の立脚地が丸ごと問われた意味において、彼岸から賜った問いだと言ってもいいと思います。外

に對して問うていた者が、初めて問われる者になったのです。

その質問に話を戻しますが、私はその場では蓮如上人の「後生の一大事」、親鸞聖人の「出世の大事」、この二つの言葉を掲げました。いずれも「大事」ですから、最重要課題、真に悩むべきこと、問うべきことを意味します。蓮如上人の「後生の一大事」という言葉は、「白骨の御文」の結びに、

たれの人もはやく後生の一大事を心にかけて

(赤本七〇頁)

〈意識 大切な方のご命終に出遇つた私たちは、誰もが自らの「後生の一大事」、自分の人生が統一される一点をあきらかにすることを最優先課題として〉

とある有名な言葉です。「後生」については様々な解釈がなされていますが、「今生」に對する言葉であり、「命終後」という意味です。「命を終えた後」という意味ですけれども、「後生」とは死後の行方を示すかたちで、「今生」を丸ごと問いかえす仏の知見だと、私は受けとめています。

つまり、「今生を楽しく豊かに生きる」という「今生」のみの発想、それこそ「今だけを楽しく」としか考えられない私たちに「後生」という一言をもって、「今生」を丸ごと問いかえす言葉です。

「私の一生は、どこへ向かっているのか」。あるいは「私はいったい何のために生まれてきたのか」。まさに究極的問いを意味するのが「後生」です。

親鸞聖人は「何のために生まれてきたのか」という問いを「出世の大事」とおっしゃったのだと、私は思います。「終活」を取り上げて話しておりますが、仏法を聞くということは、死の準備ではありませんし、死にざまの善し悪しなどでもありません。

そういう意味での終活ではなくて、「出世」、「私はいったい何のために生まれてきたのか」、「この世に何のために出てきたのか」、この問いに応答できるものに出遇っているか、ということに目覚めさせるのが仏法聴聞です。ですから答えを探すよりも、問うべきことを問うていないことに目覚める。そこが大事な点でしょう。

具体的に申せば、趣味もあり、孫も可愛いし、親しい

友だちもいるけれども、それだけでは満たされない。それが宗教心なのでしょう。楽しければ人生万々歳、では済まないものがあるのでしょうか。

ある先生は「死ぬ間際に考えることを今考えることだ」といわれます。

病院のベッドの上で「自分なりに頑張ってきたし、いい暮らしも手に入った。けれども、私の一生は何だったのかな」とチラリと胸をかすめる。こういう一瞬が最も深い宗教的問いであり、それが宗教心と呼び得るものではないでしょうか。

ありがたい気持ちになるとか、大いなるものに包まれるような埋没感や癒しでは片付けられないことです。むしろ考えたくないことであり、自分の中に応答が見つからない問いならば、むしろ触れたくない領域です。しかし自分の奥底から突き上げてきて、蓋をしてやり過ごすことができない問いです。  
(法話一部抜粋)

ご法話が全文記載された法話録限定数あります。詳しくは道誠寺へお問い合わせください。

一年に一度、報恩講はぜひお参りしてください。

## 令和6年（2024年）度の年回忌案内

回忌	命終された年
1周忌	2023年(令和5年)
3回忌	2022年(令和4年)
7回忌	2018年(平成30年)
13回忌	2012年(平成24年)
17回忌	2008年(平成20年)
23回忌	2002年(平成14年)
27回忌	1998年(平成10年)
33回忌	1992年(平成4年)
50回忌	1975年(昭和50年)

## ○年忌法要

### (ご法事)について

お寺の本堂、ご自宅のお内仏前、(墓前)でお勤めします。

日程や場所がお決まりになられたら、お寺へご連絡ください。

TEL 047-337-5305

《能登半島地震に対する救援金》はご本山へ  
【救援金口座】郵便振替口座番号 00920-3-203053  
【加入者名】真宗大谷派

※通信欄に「令和6年能登半島地震」とご記載ください。

真宗大谷派 <sup>どうじょうじ</sup> 道誠寺

〒272-0804

千葉県市川市南大野

1-26-31

TEL:047-337-5305

URL:

<https://dojyoji.com>

メールアドレス

ichikawadojyoji

@gmail.com

住職 釋光生

副住職 釋潤生

前住職 釋慈敬

